

あなたが捨てたごみと京都のごみ対策

健全な京の自然と市民の健康を未来につなぐために。
ごみを自然にかえすお手伝い。

ごみの減量化とともに、忘れてはいけない適正処理の推進。生活環境からの速やかな汚物の除去と衛生的な処理処分を進め、高性能な機器を用いて徹底した公害防止対策を進めるとともに、さらに地球環境を意識した取り組みを積極的に進めています。



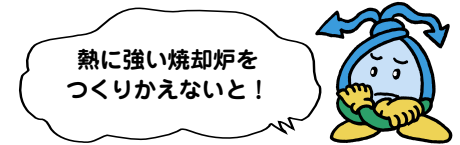
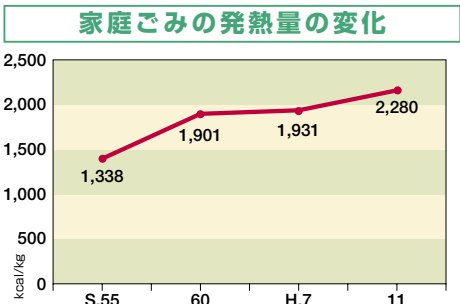
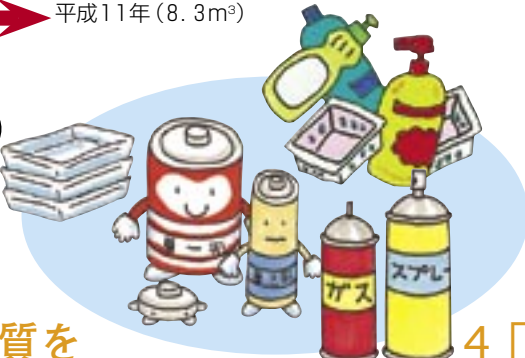
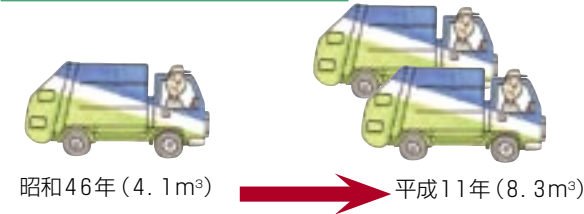
漫画ゴミック「廃棄物」第4集作画ハイ・ムーン、日報（1999）

しかし、処理が難しくなってきた最近のごみ質。
適正に処理をするにはたくさんの費用がかかります。

1 「かさばるごみ」が増えた。

2 燃やすと「発熱量が高いごみ」が増えた。

1 トンのごみの収集運搬



3 様々な「化学物質を含むごみ」が増えた。

鉛などの化学物質が、電池や顔料、防腐剤、難燃剤などとして身近な商品に少しずつ使われ、捨てられます。

また、塩素を含むプラスチック類や生ごみの焼却はダイオキシン類の発生原因の一つになっています。

現在、とりうる最善の技術を取り入れ、徹底した公害防止対策を行っています。

参考資料：* 市5施設12炉平均
** 厚生省調査「ごみ焼却施設からのダイオキシン類排出実態調査」（平成11年度）
*** 国の廃棄物処理法維持管理基準（平成14年12月以降は1ng-TEQ/m³N）

4 「危険なごみ」が増えた。

カセット式ガスボンベやスプレー缶などは爆発事故の原因になっています。

